



2020年3月期 決算説明資料

2020年 5月 19日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



目次

- 新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響 P 1～2
- 2020年3月期 決算概要 P 3～36
- 今後の経営方針 P 37～43
- 株式の状況・株主還元 P 44～47
- 参考情報 P 48～61



新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響

新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響

<2020年3月期>

- 年度終盤、政府及び自治体からの外出自粛要請に伴う移動の減少などにより、訪日客減少に伴うインバウンド売上高の減少に留まらず、国内全域で主要な販売チャネルでの売上高が軒並み急激に落ち込み、大幅な生産調整を余儀なくされた。とりわけ繁忙期にあたる3月が売上面、利益面ともに大幅に落ち込む。
- 第4四半期の月別売上高は、1月が前年同月比15.4%増、2月が同 5.7%減、3月が同 44.8%減。
- 決算において、たな卸資産の将来販売可能性を見積り、「たな卸資産評価損」248百万円を特別損失に計上。

<足元の状況>

- 4月の政府による全国を対象とした「緊急事態宣言」発令を受け、外出自粛要請に伴う移動の減少や出店施設の臨時休業などにより、事業活動の大幅な縮小を余儀なくされている。
- 4月の売上高は、前年同月比82.4%減と大幅な落ち込みとなり、5月前半も緊急事態宣言の延長を受け、4月と同様の状況。

<2021年3月期の業績予想及び配当予想について>

- 現時点では「未定」。業績予想が可能となった段階で、速やかに開示する予定。

(新型コロナウイルス感染拡大を踏まえた、緊急対策等については、P41参照)



2020年3月期 決算概要

2020年3月期の業績ハイライト

売上高 10.8%増収、純利益3.2%増益

(第4四半期会計期間:売上高14.8%減収、四半期純利益 88.5%減益)

好調トレンドから、年度終盤は新型コロナウイルス感染拡大の影響により様相が一変し、事業活動の縮小を余儀なくされ、第4四半期が大幅な減収・減益となる。当期純利益は僅かながら前期を上回り、最高益を更新。

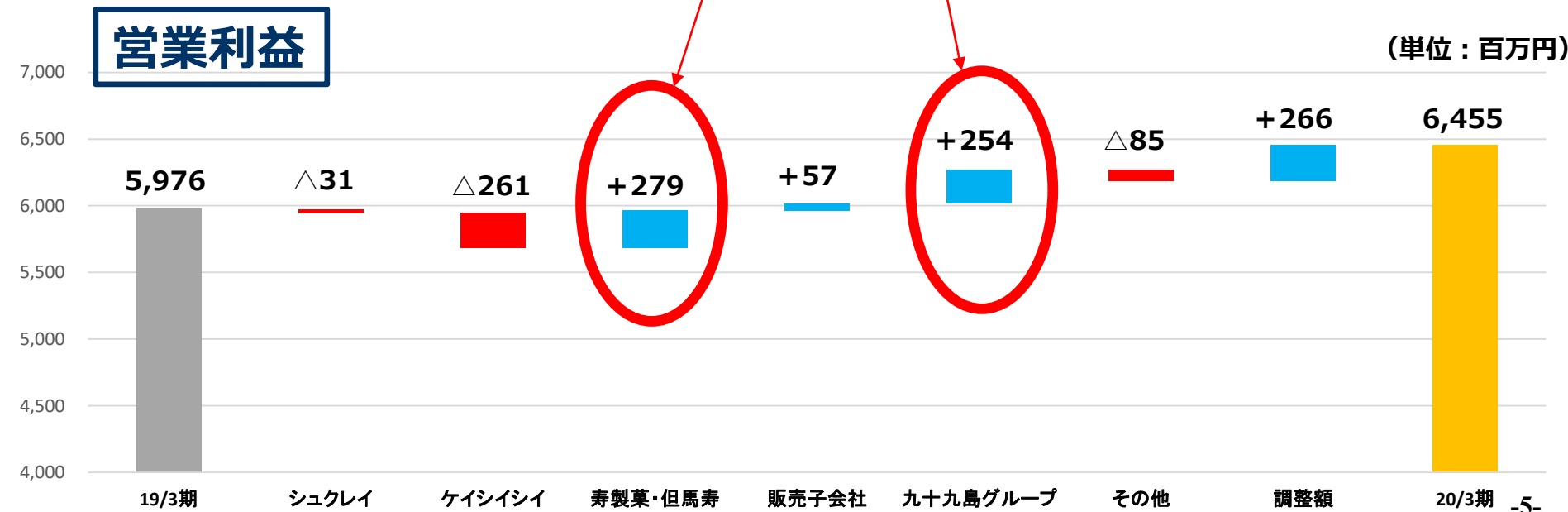
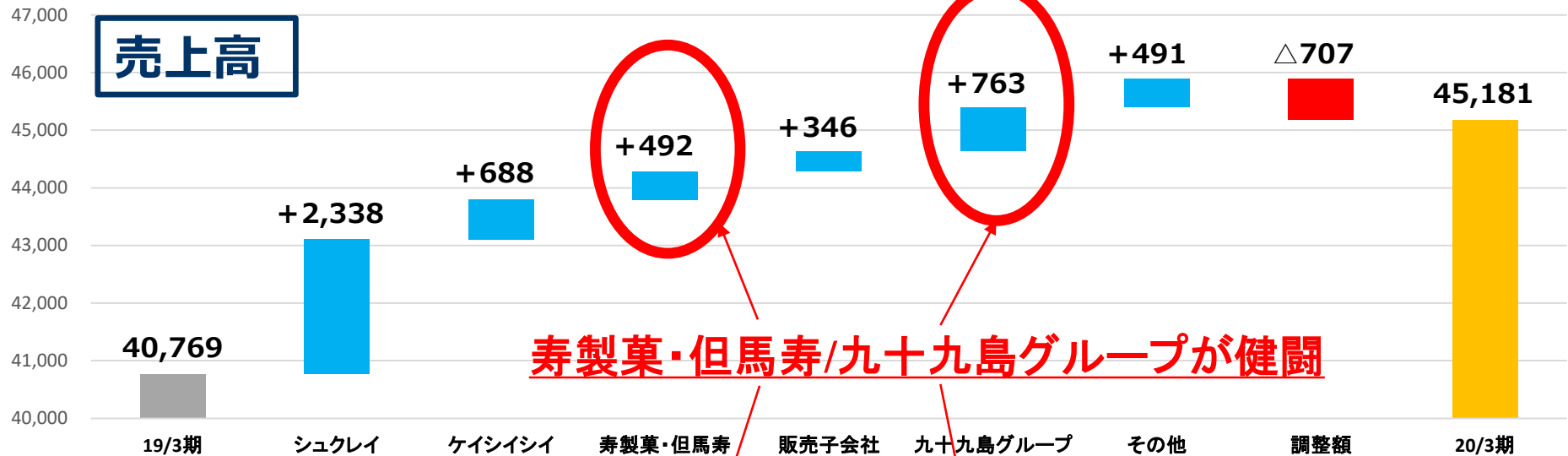
(四半期業績)

(単位:百万円)

	1Q会計 (4-6)	2Q会計 (7-9)	3Q会計 (10-12)	4Q会計 (1-3)	通期
売上高 (対前年同期比)	10,627 (+23.5%)	11,761 (+20.7%)	13,287 (+17.9%)	9,506 (△14.8%)	45,181 (+10.8%)
経常利益 (対前年同期比)	1,567 (+87.7%)	1,981 (+49.8%)	2,694 (+22.9%)	233 (△86.0%)	6,475 (+7.7%)
純利益 (対前年同期比)	1,023 (+100.5%)	1,246 (+52.3%)	1,702 (+12.4%)	130 (△88.5%)	4,100 (+3.2%)

2020年3月期業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



通期のトピックス①

シュクレイ 多ブランドでの新規出店を加速



レモンショップby FRANÇAIS
新宿西口店 (2019年4月)



キャラメルゴーストパーティー
キラリナ京王吉祥寺 (2019年4月)



東京ミルクチーズ工場 Cow Cow
Kitchen アトレ秋葉原店 (2019年6月)



東京ミルクチーズ工場 Cow Cow
Kitchen ルミネ大宮店 (2019年7月)



CARAMEL GHOST GARDEN
新宿ミロード店 (2019年9月)



THE TAILOR
阪急うめだ店 (2019年11月)



Butter Butler・FRANÇAIS
エキュートエディション渋谷店 (2019年11月)



東京ミルクチーズ工場
羽田空港第2旅客ターミナル
PIER63番ゲート前店
(2020年3月)

通期のトピックス②

ケイシイシイ 新ブランドでの首都圏での展開を加速



now on Cheese ♪ エキュート大宮店 (2019年12月)



Good Morning Table 横浜高島屋店 (2019年11月)



now on Cheese ♪ 東急フードショーエッジ店 (2019年11月)

通期のトピックス③

グループ会社 主要都市での新規出店を推進



BISPOCKE 神戸本店(2019年4月)



BISPOCKE 近鉄あべのハルカス店(2019年5月)



KYOTO VENETO 京都駅ポルタ店(2019年7月)



I LOVE CUSTARD NEUFNEUF 福岡空港店(2019年8月)



MISTER CARAMELIST 博多駅(2019年10月)



KONDITOREI KOBE 京都駅ポルタ店(2020年2月)

2020年3月期出店の状況

<p>シュクレイ (9店)</p>	<p>レモンショップbyフランセ 新宿店(2019年4月) キャラメルゴーストパーティー キラリナ京王吉祥寺店(2019年4月) Cow Cow Kitchen アトレ秋葉原店(2019年6月) Cow Cow Kitchen ルミネ大宮店(2019年7月) キャラメルゴーストガーデン 新宿ミロード店(2019年9月) Butter Butler エキュートエディション渋谷店(2019年11月) FRANÇAIS エキュートエディション渋谷店(2019年11月) THE TAILOR 阪急うめだ店(2019年11月) 東京ミルクチーズ工場 羽田空港 PIER63番ゲート前店(2020年3月)</p>
<p>ケイシイシイ (3店)</p>	<p>now on Cheese ♪ 渋谷東急フードショーエッジ店(2019年11月) Good Morning Table 横浜高島屋店(2019年11月) now on Cheese ♪ エキュート大宮店(2019年12月)</p>
<p>販売子会社 (4店)</p>	<p>BISPOCKE 神戸本店(2019年4月)※ブランド変更 BISPOCKE あべのハルカス近鉄本店(2019年5月) KYOTO VENETO 京都駅ポルタ店(2019年7月) KONDITOREI KOBE 京都駅ポルタ店(2020年2月)</p>
<p>九十九島 グループ (2店)</p>	<p>I LOVE CUSTARD NEUFNEUF 福岡空港店(2019年8月) MISTER CARAMELIST 博多駅店(2019年10月)</p>

重点施策の成果①

・インバウンド対策の強化

【国際線ターミナル売店卸売上高】(インバウンド売上高) (単位：百万円)

2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率
4,605	5,375	+769	+16.7%



LeTAO 羽田空港セントラル催事



Butter Butler 関西空港 Terminal2 催事

重点施策の成果②

・海外展開（海外における事業モデルの構築）

【海外売上高】

（単位：百万円）

2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率
1,318	1,628	※ +310	+23.5%

※この内、香港子会社が連結対象になったことに伴い、香港向け売上を国内出荷ベースから、現地売上ベースに変更した影響額は322百万円。





重点施策の成果③

・首都圏でのWSR化展開の推進

【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

2019年3月期	2020年3月期	増減額	増減率
13,860	16,199	+2,338	+16.9%



東京ミルクチーズ工場(常設)・キャラメルゴーストハウス(催事)
羽田空港第2旅客ターミナルPIER63番ゲート前店(2020年3月)

シュクレイの売上高(前年比較)

(単位:百万円)

	19/3月期	20/3月期	増減	増減比
店舗	6,552	7,273	721	11.0%
催事	2,534	3,150	616	24.3%
通販	276	356	79	28.7%
卸	4,232	5,103	871	20.6%
卸(グループ向)	266	318	52	19.6%
合計	13,860	16,199	2,338	16.9%

業績サマリー

売上高は9期連続、当期純利益は8期連続の最高値更新

(百万円、%)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期
売上高 (対前期比)	26,612 (+15.9%)	32,536 (+22.3%)	37,385 (+14.9%)	40,769 (+9.1%)	45,181 (+10.8%)
営業利益 (対前期比)	3,277 (+61.1%)	3,847 (+17.4%)	5,012 (+30.3%)	5,976 (+19.2%)	6,455 (+8.0%)
経常利益 (対前期比)	3,326 (+60.7%)	3,898 (+17.2%)	5,049 (+29.5%)	6,012 (+19.1%)	6,475 (+7.7%)
当期純利益※ (対前期比)	2,305 (+76.7%)	2,572 (+11.6%)	3,534 (+37.4%)	3,972 (+12.4%)	4,100 (+3.2%)
売上高経常利益率(%)	12.5	12.0	13.5	14.7	14.3
EPS (円)	74.08	82.66	113.56	127.64	131.76
BPS (円)	346.14	409.20	497.16	587.87	680.11
ROE (%)	23.3	21.9	25.1	23.5	20.8

※当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益(他の資料箇所も同様)

2020年3月期業績(対前期)

経常利益率は前期比0.4ポイント減少/当期純利益率は同0.6ポイント減少

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	40,769	—	45,181	—	4,412	10.8
売上総利益	23,882	58.6	26,702	59.1	2,820	11.8
販売管理費	17,907	43.9	20,248	44.8	2,341	13.1
営業利益	5,976	14.7	6,455	14.3	479	8.0
経常利益	6,012	14.7	6,475	14.3	463	7.7
当期純利益	3,972	9.7	4,100	9.1	128	3.2
EPS(円)	127.64		131.76		4.12	
ROE(%)	23.5		20.8		△ 2.70	

●特別損失に店舗に係る減損損失264百万円、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に伴うたな卸資産評価損248百万円を計上

売上高(販売チャネル別)

店舗販売はシュクレイ直営店及び催事の伸長などにより対前期比 7.7%増
卸売はインバウンド売上の伸長などにより同12.3%増

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	40,769	—	45,181	—	4,412	10.8
通信販売	2,527	6.2	2,912	6.4	385	15.2
(内ルタオ通販)	1,955	4.8	2,246	5.0	291	14.9
店舗販売	18,149	44.5	19,548	43.3	1,399	7.7
卸売	18,731	45.9	21,034	46.6	2,303	12.3
海外	1,318	3.2	1,628	3.6	310	23.5
その他	45	0.1	59	0.1	14	32.0

(注) 店舗販売は、主に直営店舗、催事など
卸売は、主に小売店(駅、空港、SAなど)、代理店卸、OEMなど
その他は健康食品事業、損害保険代理業など

売上原価・売上総利益

売上総利益率 対前期比 0.5ポイント増加

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	40,769	—	45,181	—	4,412	10.8
材料費	9,592	23.5	10,291	22.8	698	7.3
労務費	3,966	9.7	4,510	10.0	544	13.7
製造経費	2,538	6.2	2,646	5.9	107	4.2
製造原価計	16,097	39.5	17,446	38.6	1,350	8.4
その他	790	1.9	1,032	2.3	242	30.7
売上原価合計	16,887	41.4	18,478	40.9	1,592	9.4
売上総利益	23,882	58.6	26,702	59.1	2,820	11.8

販売管理費・営業利益

第4四半期の売上高の落ち込みにより、販売管理費率は対前期比0.9ポイント増加

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上総利益	23,882	58.6	26,702	59.1	2,820	11.8
人件費	7,016	17.2	7,695	17.0	679	9.7
販売促進費	3,139	7.7	3,567	7.9	428	13.6
運賃	1,705	4.2	2,026	4.5	321	18.8
広告宣伝費	268	0.7	294	0.7	26	9.8
地代家賃	2,591	6.4	3,116	6.9	525	20.3
減価償却費	451	1.1	570	1.3	118	26.2
旅費交通費	638	1.6	621	1.4	△ 17	△ 2.7
その他	2,098	5.1	2,359	5.2	261	12.4
販売管理費	17,907	43.9	20,248	44.8	2,341	13.1
営業利益	5,976	14.7	6,455	14.3	479	8.0

●人件費及び地代家賃の増加は、主に新規出店の増加によるもの

公表数字に対する達成率

上期は予想数値を上回った一方、2月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、通期では売上面、利益面ともに期初予想を下回る

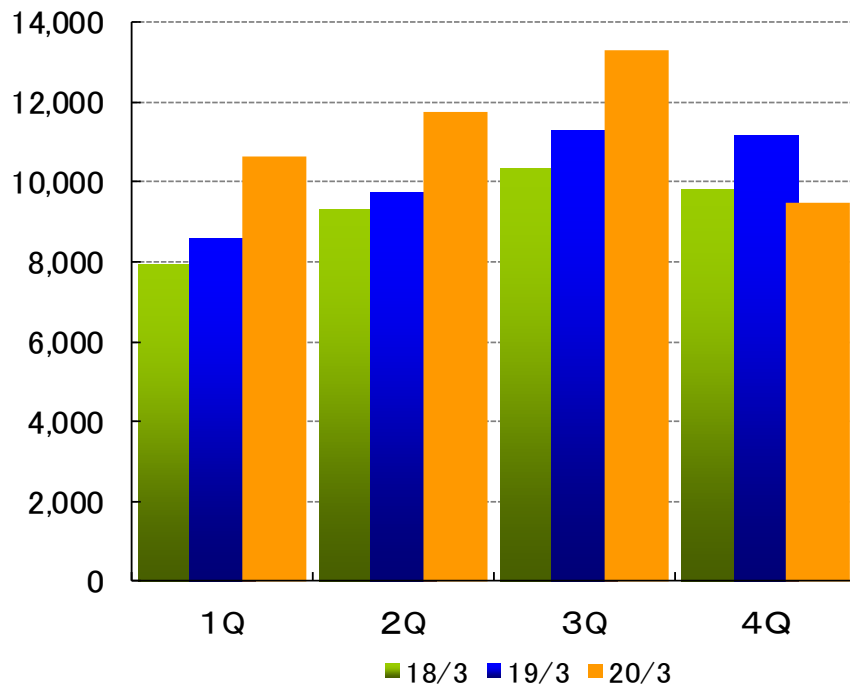
(百万円、%)	期初予想※		20年3月期		対期初予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	達成率
売上高	45,200	—	45,181	—	△ 19	100.0
売上総利益	26,870	59.4	26,702	59.1	△ 168	99.4
販売管理費	19,900	44.0	20,248	44.8	348	101.7
営業利益	6,970	15.4	6,455	14.3	△ 515	92.6
経常利益	7,000	15.5	6,475	14.3	△ 525	92.5
当期純利益	4,550	10.1	4,100	9.1	△ 450	90.1

※ 期初予想は2019年5月13日公表数値

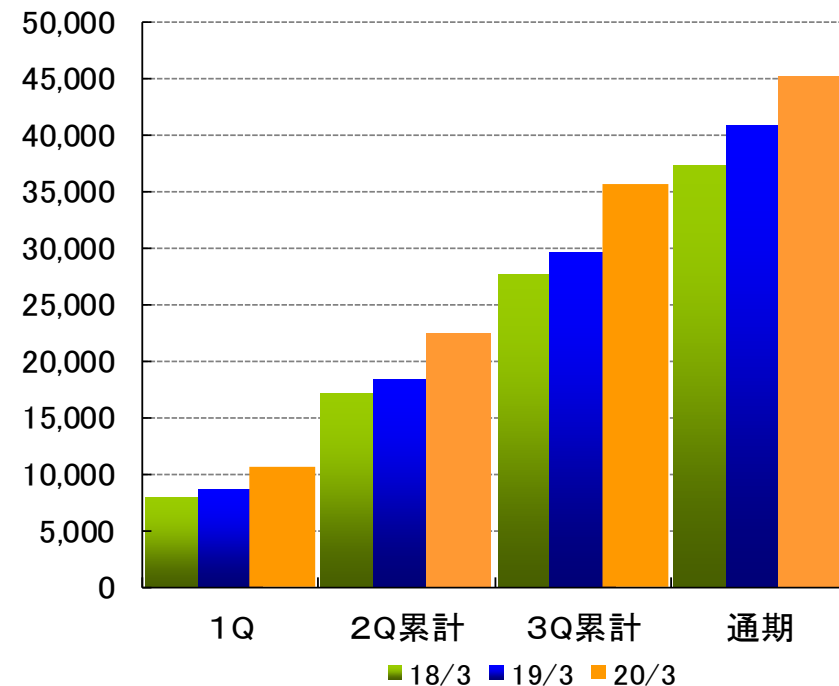
四半期業績の推移(売上高)

(4Q会計)新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、20四半期ぶりに減収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



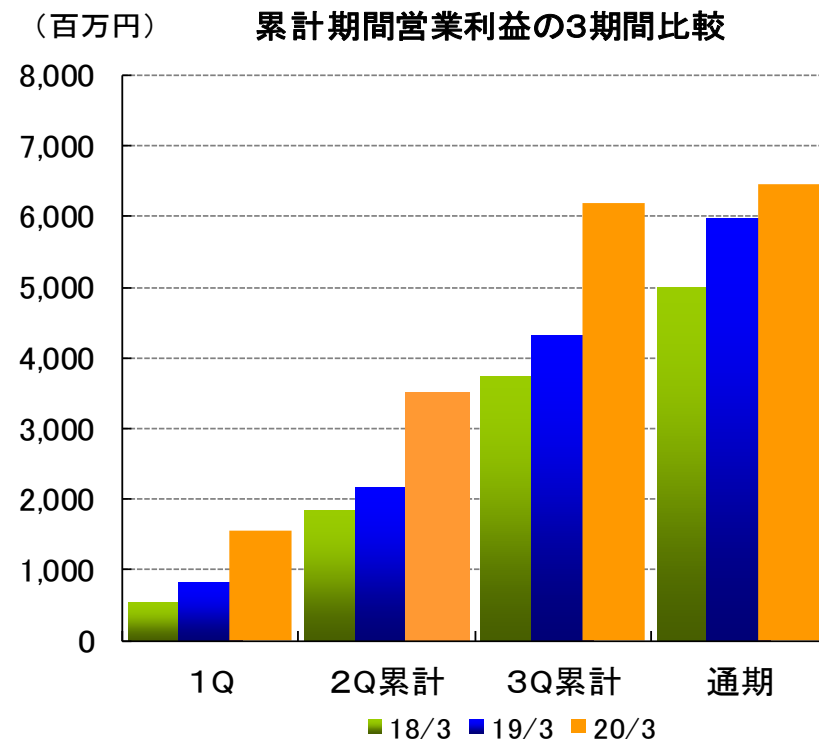
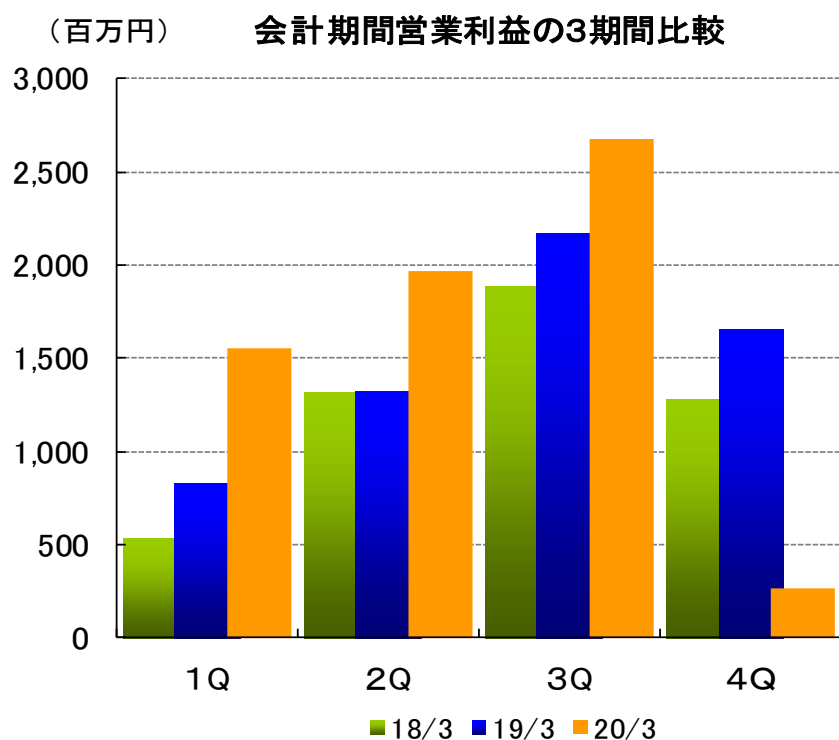
(百万円) 累計期間売上高の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	7,920	9,299	10,328	9,838	7,920	17,219	27,547	37,385
19/3	8,601	9,747	11,268	11,153	8,601	18,348	29,616	40,769
20/3	10,627	11,761	13,287	9,506	10,627	22,388	35,675	45,181
増減率	23.5%	20.7%	17.9%	△14.8%	23.5%	22.0%	20.5%	10.8%

四半期業績の推移(営業利益)

(4Q会計)新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、20四半期ぶりに減益



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	535	1,314	1,882	1,281	535	1,849	3,731	5,012
19/3	830	1,321	2,167	1,658	830	2,151	4,318	5,976
20/3	1,555	1,964	2,672	264	1,555	3,519	6,191	6,455
増減率	87.4%	48.6%	23.3%	△84.1%	87.4%	63.6%	43.4%	8.0%

セグメント別概況



- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

セグメント別業績(対前期)

年度終盤の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、とりわけ繁忙期にあたる3月の落ち込みが影響し、営業利益は、シュクレイ、ケイシイシイがともに前期を下回る

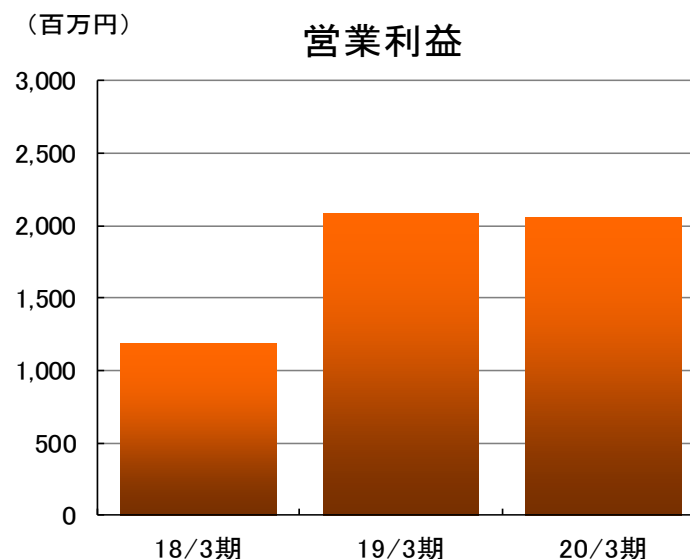
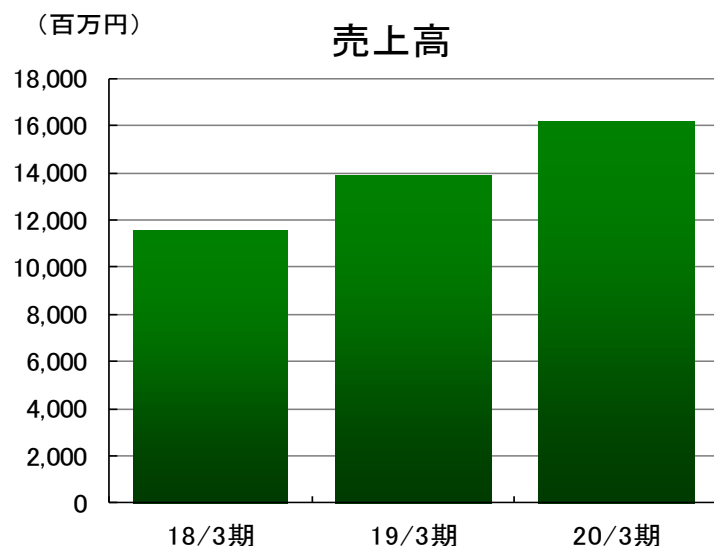
(百万円、%)	売上高				営業利益		
	19/3期	20/3期	増減額	増減率	19/3期	20/3期	増減額
シュクレイ	13,860	16,199	2,338	16.9	2,090	2,059	△ 31
ケイシイシイ	12,012	12,700	688	5.7	1,553	1,292	△ 261
寿製菓・但馬寿	10,080	10,572	492	4.9	1,073	1,352	279
販売子会社	5,829	6,176	346	5.9	467	523	57
九十九島グループ	3,759	4,522	763	20.3	120	374	254
その他 ※	321	812	491	152.8	△ 91	△ 177	△ 85
セグメント計	45,862	50,980	5,119	11.2	5,211	5,423	212
調整額	△ 5,093	△ 5,800	△ 707	13.9	765	1,032	266
合計	40,769	45,181	4,412	10.8	5,976	6,455	479

※「その他」には、20/3期より、19/3期に連結の範囲に含めたHoney Sucrey Limited(香港)が含まれております。
また、19/3期は持分法適用のため、上表には含まれておりません。

《シュクレイ》

当期実績: 売上高 **16,199**百万円(前期比**+16.9%**) 営業利益 **2,059**百万円(同**△1.5%**)

本年1月までは、販売力の強化及び新規出店効果などにより、直営店及び催事売上がともに伸長。また、営業強化などにより国際線ターミナル売店及び駅売店での卸売上が好調に推移。生産面では、生産能力の増強を図るため、横浜工場の改修工事を実施。一方、年度終盤は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、繁忙期にあたる3月は、売上面・利益面ともに急激に落ち込んだ。出退店は、駅ビル及び商業施設など計9店の出店及び8店の退店を実施。



シュクレイ

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	11,547	13,860	16,199	2,338	16.9
売上総利益	6,692	8,682	9,893	1,211	13.9
粗利率	58.0	62.6	61.1	△ 1.6	
販売管理費	5,504	6,592	7,834	1,242	18.8
営業利益	1,188	2,090	2,059	△ 31	△ 1.5

《シュクレイ》



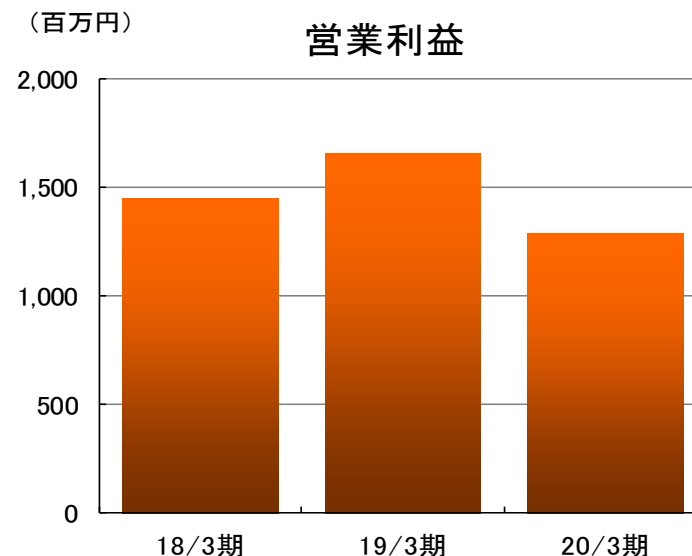
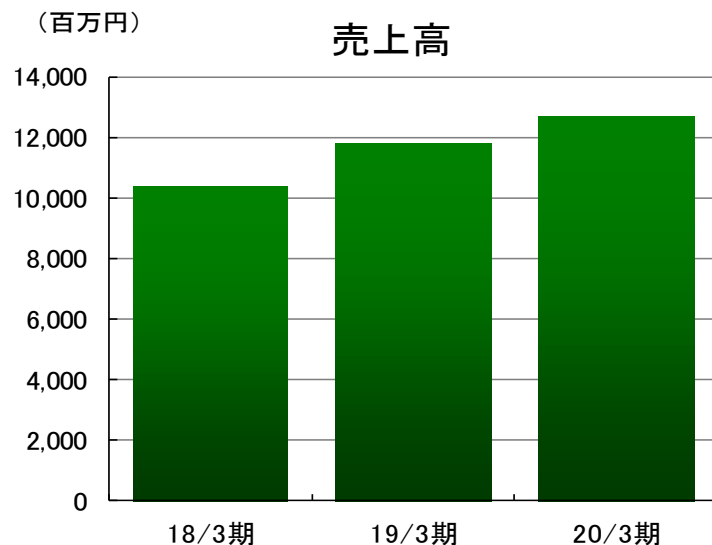
FRANÇAIS



《ケイシイシイ》

当期実績:売上高 **12,700**百万円(前期比**+5.7%**)営業利益 **1,292**百万円(同**△16.8%**)

本年1月までは、各種対策強化などにより国際線ターミナル売店での卸売上及び通信販売が伸長。また、前期に立ち上げた新ブランドによる首都圏での新規出店効果も加わり、総じて堅調に推移。一方、年度終盤は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、繁忙期にあたる3月は、売上面・利益面ともに急激に落ち込んだ。



ケイシイシイ

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	11,841	12,012	12,700	688	5.7
売上総利益	7,230	7,479	7,758	279	3.7
粗利率	61.1	62.3	61.1	△ 1.2	
販売管理費	5,573	5,927	6,466	540	9.1
営業利益	1,657	1,553	1,292	△ 261	△ 16.8

《ケイシイシイ》

Nostalgic Modern.
LeTAO
High-class Sweets Atmosphere



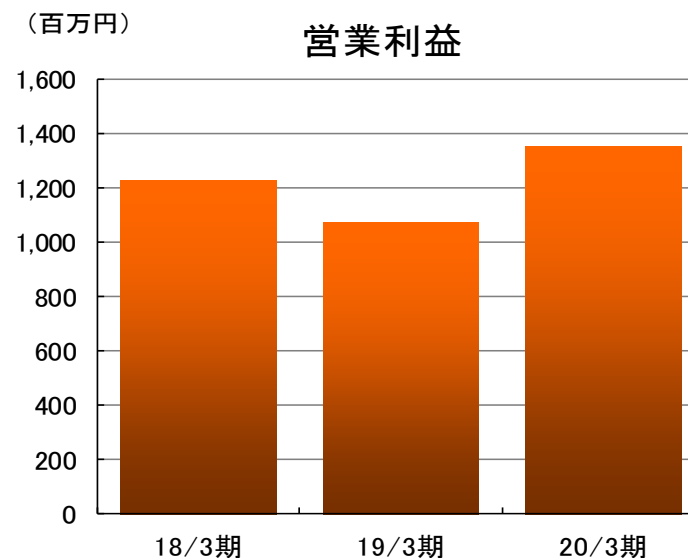
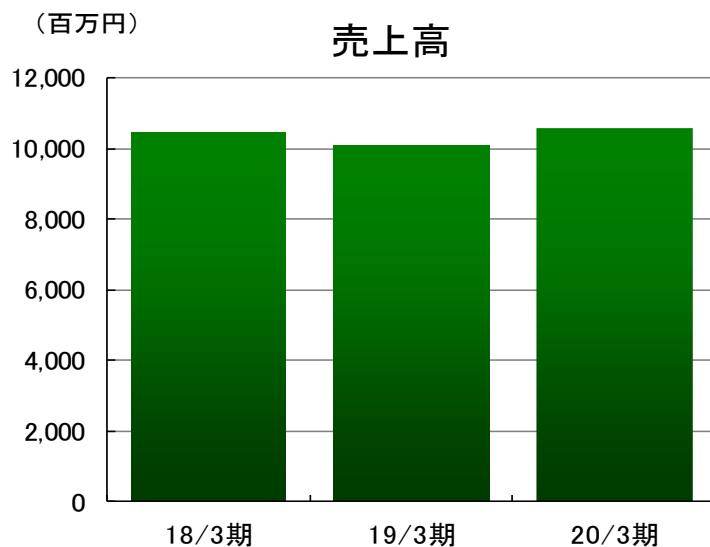
**now on
Cheese!**
Cheese makes everyone smile.



《寿製菓・但馬寿》

当期実績:売上高 **10,572**百万円(前期比**+4.9%**)営業利益 **1,352**百万円(同**+26.0%**)

本年1月までは、前期に実施したグループ向け生産の一部を他のグループ製造拠点に移管したことによる減収要因が一巡し、グループ向け売上が増収基調に転じ、また、「サンドクッキー」などの新製品の営業強化及び販路拡大などにより売上高は好調に推移。一方、年度終盤は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、繁忙期にあたる3月は、売上面・利益面ともに急激に落ち込んだ。



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	10,428	10,080	10,572	492	4.9
売上総利益	3,958	3,866	4,199	332	8.6
粗利率	38.0	38.4	39.7	1.4	
販売管理費	2,729	2,793	2,847	54	1.9
営業利益	1,230	1,073	1,352	279	26.0

《寿製菓・但馬寿》



白うなぎ
名産品

KÄnoZA
IZUMO



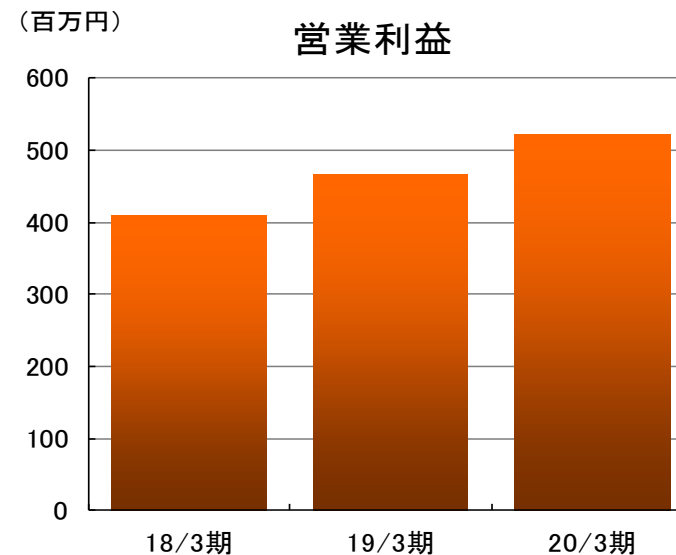
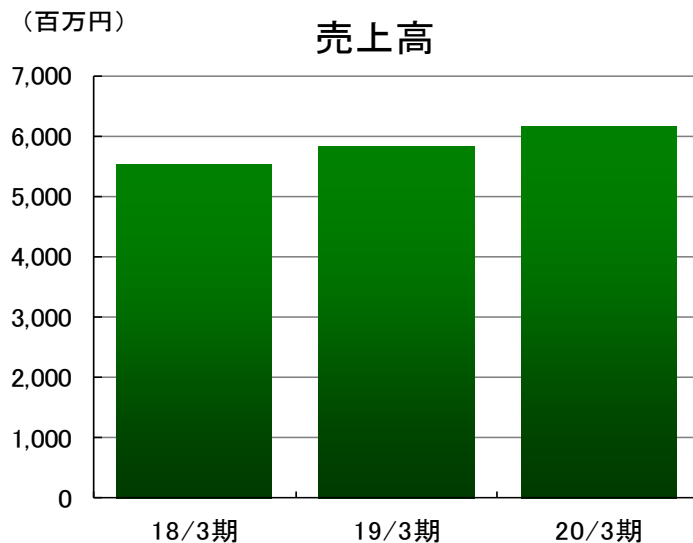
遊A亭

遊A亭

《販売子会社》

当期実績: 売上高 **6,176**百万円(前期比**+5.9%**) 営業利益 **523**百万円(同**+12.2%**)

本年1月までは、新規出店効果により関西地区の売上高が伸長し、加えて、東海地区においても、改元祝賀ムードも追い風となり2018年11月に新店出した伊勢神宮内宮前おはらい町通り店の出店効果や主力商品が伸長したことなどにより好調に推移。一方、年度終盤は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、繁忙期にあたる3月は、売上面・利益面ともに急激に落ち込んだ。



販売子会社

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	5,518	5,829	6,176	346	5.9
売上総利益	1,863	2,057	2,224	167	8.1
粗利率	33.8	35.3	36.0	0.7	
販売管理費	1,454	1,590	1,700	110	6.9
営業利益	409	467	523	57	12.2

《販売子会社》

ひだ寿庵



東海寿



三重寿庵



寿庵



寿香寿庵



南寿製菓



寿堂



せとうち寿



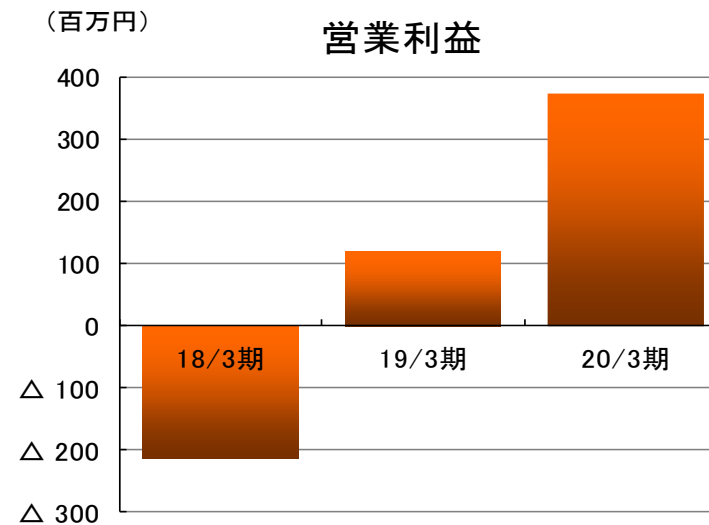
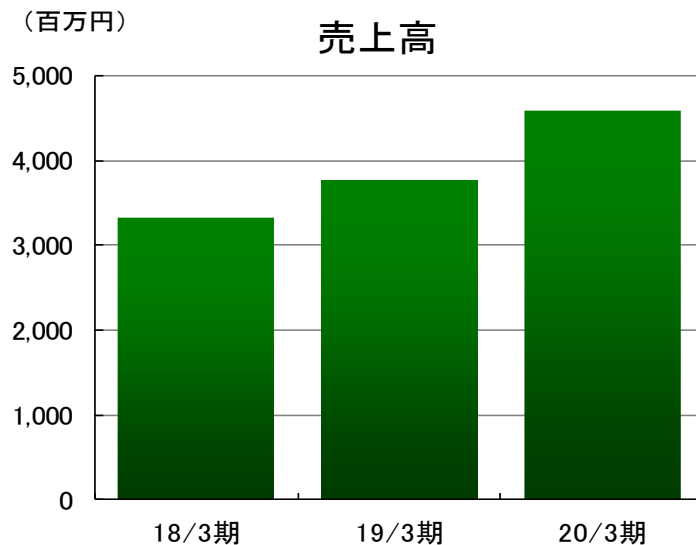
花福堂



《九十九島グループ》

当期実績:売上高 **4,522**百万円(前期比**+20.3%**)営業利益 **374**百万円(同**+212.6%**)

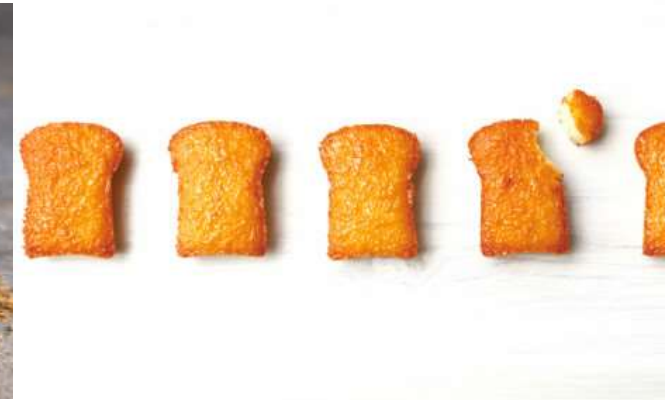
本年1月までは、テーマパーク向けOEM生産の中止や製造ライン新設によるグループ向け供給体制の構築など前期からの取り組みが奏功し、収益性が大幅に改善。また、新規出店効果や首都圏での催事強化などにより、好調に推移。一方、年度終盤は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を強く受け、繁忙期にあたる3月は、売上面・利益面ともに急激に落ち込んだ。



九十九島グループ

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	3,319	3,759	4,522	763	20.3
売上総利益	1,383	1,709	2,127	418	24.5
粗利率	41.7	45.5	47.0	1.6	
販売管理費	1,596	1,589	1,753	164	10.3
営業利益	△ 213	120	374	254	212.6

《九十九島グループ》



Ivorish
Premium French Toast

九十九島せんぺい



赤い風船



I LOVE CUSTARD
アイラブカスタードヌフヌフ



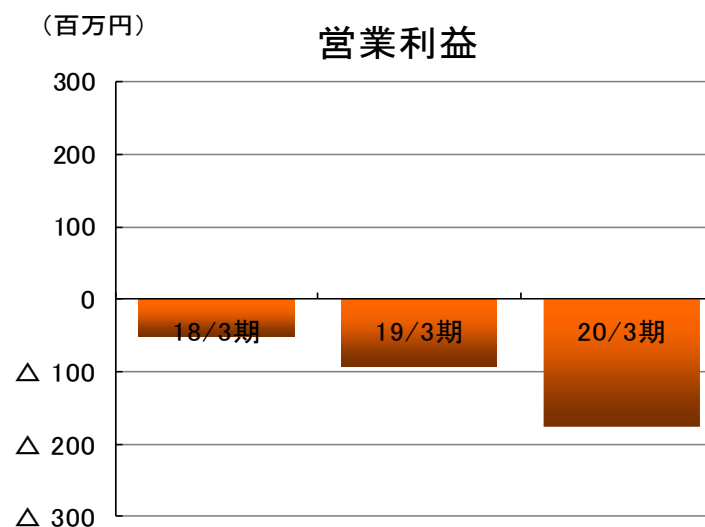
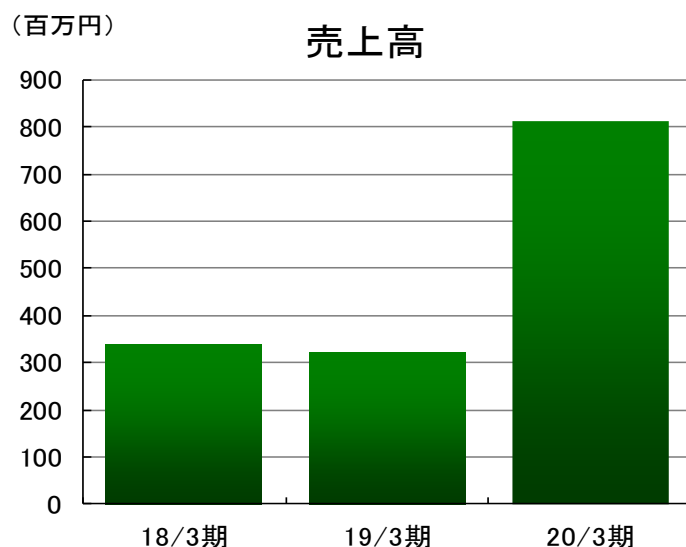
MISTER CARAMELIST



《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

当期実績:売上高 **812**百万円(前期比**+152.8%**)営業利益 **△177**百万円(前期**△91**百万円)

台湾事業は、新規出店効果などにより収益は改善傾向にある一方、香港事業は、香港への訪問者数激減など事業環境の急激な悪化に伴い苦戦。なお、海外連結子会社Honey Sucrey Limited(香港)は、急激な事業環境な悪化を踏まえ、事業再建が困難と判断し、本年1月開催の当社取締役会において清算計画を決議した。



その他

(百万円,%)	18/3期	19/3期	20/3期	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率
売上高	340	321	812	491	152.8
売上総利益	198	191	529	337	176.2
粗利率	58.3	59.6	65.1	5.5	
販売管理費	251	283	706	423	149.3
営業利益	△ 53	△ 91	△ 177	△ 85	-

(注)20/3期より、19/3期に連結の範囲に含めました Honey Sucrey Limited(香港)が含まれております。

《その他》

台湾菓子事業

純藍

健康食品事業(純藍事業)



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
台湾 台中新光三越



純藍茶

貸借対照表

自己資本比率は、対前期比8.4ポイント増加の78.9%

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		20年3月期		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	10,925	49.0	13,202	50.9	13,444	50.1	242	1.8
固定資産	11,352	51.0	12,751	49.1	13,370	49.9	619	4.9
資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	26,814	100.0	861	3.3
流動負債	4,908	22.0	5,804	22.4	3,846	14.3	△ 1,958	△ 33.7
固定負債	1,898	8.5	1,855	7.1	1,803	6.7	△ 52	△ 2.8
負債合計	6,805	30.5	7,659	29.5	5,649	21.1	△ 2,010	△ 26.2
純資産	15,472	69.5	18,294	70.5	21,165	78.9	2,870	15.7
負債純資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	26,814	100.0	861	3.3
BPS(円)	497.16		587.87		680.11		92.24	15.7
設備投資額	1,948		2,185		2,041		△ 144	△ 6.6
減価償却費	1,049		1,234		1,459		226	18.3

キャッシュ・フロー計算書

キャッシュ期末残高は、対前期比2,632百万円増加の8,291百万円

(百万円、%)	18年3月期	19年3月期	20年3月期	対前期	
	通期	通期	通期	増減額	増減率
営業活動CF	4,158	4,697	6,578	1,881	40.1
投資活動CF	△ 1,853	△ 2,434	△ 2,446	△ 13	0.5
フリーCF	2,305	2,264	4,132	1,869	82.5
財務活動CF	△ 1,108	△ 1,352	△ 1,500	△ 147	10.9
cashに係る換算差額	△ 0	△ 0	△ 1	△ 1	137.7
cash増減	1,197	911	2,632	1,721	188.9
cash期首	3,551	4,749	5,660	911	19.2
cash期末	4,749	5,660	8,291	2,632	46.5
有利子負債	693	433	180	△ 253	△ 58.4



今後の経営方針

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点では合理的な業績予想の算定が困難なことから、2021年3月期(通期)の業績予想の開示を「未定」といたしております。

今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた重点施策

今後の見通しにつきましては、緩やかな景気回復基調で推移していた昨年の状況から一変し、新型コロナウイルスの感染拡大の影響は、戦後最大の危機に直面していると言われるほど経済活動及び個人消費に与える影響は計り知れず、かつて経験したことのない深刻な事態となっております。このような未曾有の環境下、当社グループは、目まぐるしく変化している国内外の市場動向及び消費者ニーズを迅速に把握し、次の施策を2段階構えで、全従業員の総力を結集し、積極果断に対処してまいります。

◆緊急事態フェーズ(感染拡大の収束まで)

従業員及びステークホルダーの安全・健康を第一に考え、政府及び各自治体の方針などに従い、感染予防策を引き続き講じてまいります。また、当面、事業活動の大幅な縮小を余儀なくされることから、徹底したコスト削減及び支出の抑制に努めることで経営体質をより強固なものにし、収束後を見据えた万全な対策準備に取り組んでまいります。

〈緊急対策〉

- ① 感染予防策の徹底
- ② コスト削減(人件費の縮減含む)及び資金流動性の確保
- ③ 在庫の適正化(新鮮でより美味しい商品をお客様にお届けすることを最優先に考える)
- ④ 収束後を見据えた新ブランド及び新商品開発の準備並びに提案営業の推進
- ⑤ 通信販売の対策強化(EC対策及びロイヤルカスタマー対策等の強化)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた重点施策

◆回復フェーズ(感染収束後)

収束後の消費環境は、外出自粛要請の緩和や政府による緊急経済対策などにより、徐々に回復基調で推移するものの個人消費の低迷による業績への影響は避けられないものと予想されます。当社グループは、事態の鎮静化後に迅速に事業活動を回復させ、成長軌道に乗せるべく、以下の事項を当面の重点施策と捉え、対処してまいります。

〈当面の重点施策〉

- ① 「超現場主義」による組織力の向上
- ② 主カブランド・主力商品の育成と新ブランド・新商品新販路の創造
- ③ 首都圏展開の推進
- ④ インバウンド対策の強化
- ⑤ 海外事業における成長モデルの構築

新ブランド出店情報



neko chef(シュクレイ)
東京駅一番街東京ギフトパレット



PISTA&TOKYO
(ケイシイシイ)
東京駅一番街東京ギフトパレット



岡田謹製あんバター屋
(ケイシイシイ)
東京駅一番街東京ギフトパレット

※東京ギフトパレットのオープン日は当初、初夏頃開業予定でしたが延期(現在未定)となっております。

Memo

プレミアムスイーツで
世界を幸せに!



Berry UP!

Strawberry is always in your heart.





株式の状況・株主還元

株式の状況

(2020年3月31日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

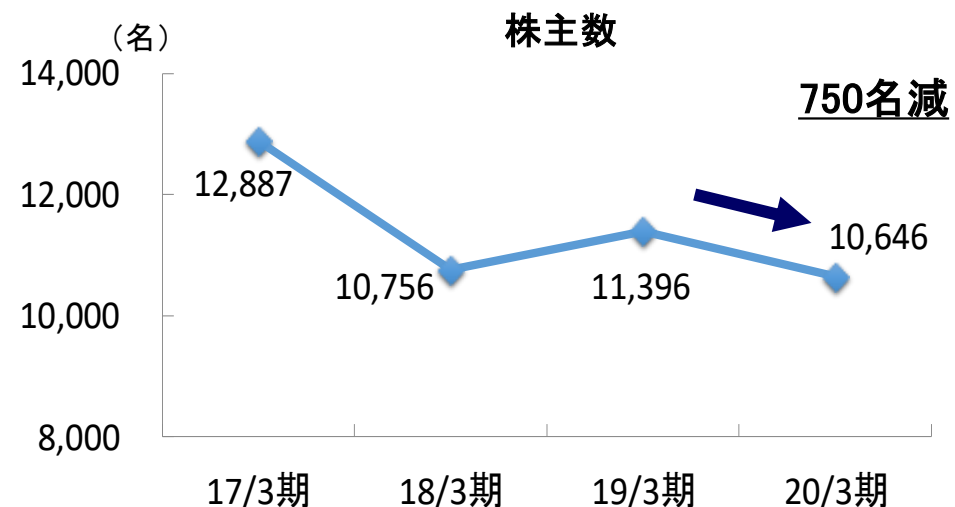
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 10,646名

(対前期末比 750名減)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,706,300	5.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,090,900	3.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	911,800	2.93
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89

注)出資比率は、自己株式1,905株を除く

株主還元

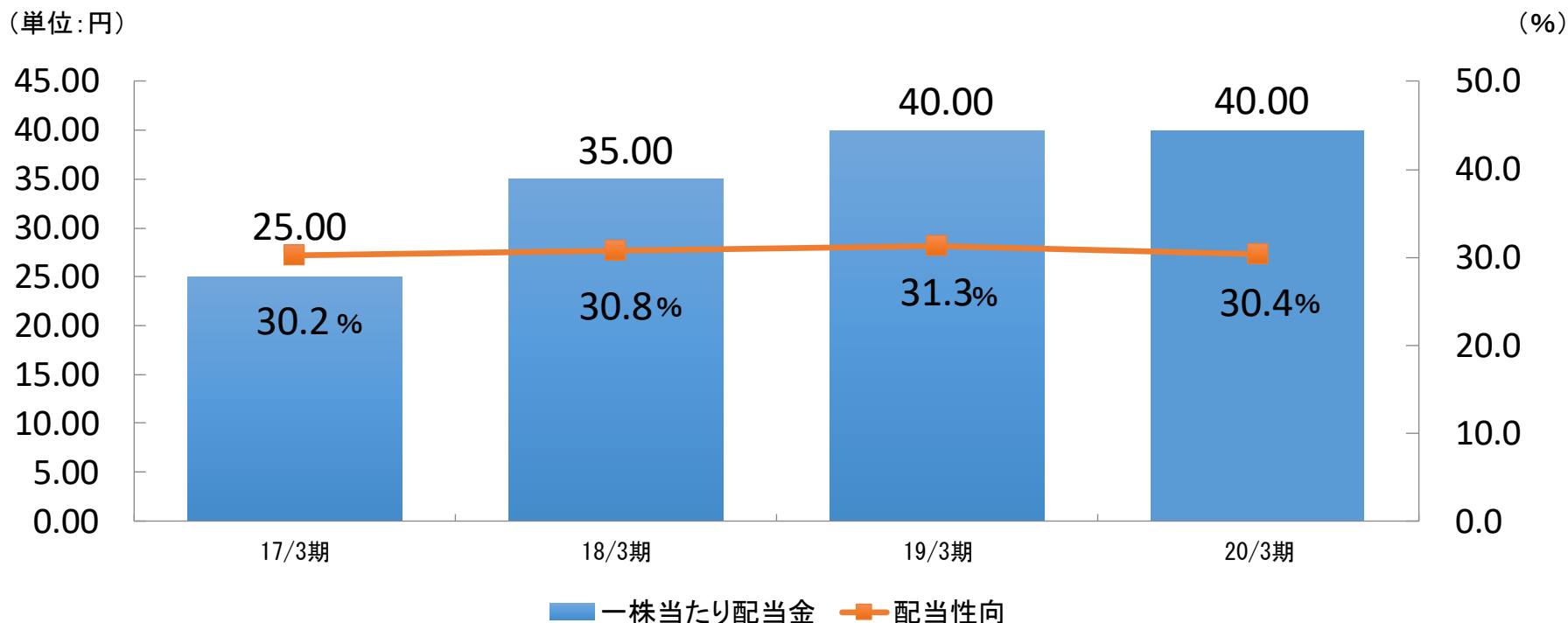
2021年3月期の配当予想については、業績予想の開示が可能になった段階で速やかに開示する予定です。

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2020年3月期1株当たり配当金 40円

一株当たり配当金・配当性向推移



株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 ＋ 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

【2020年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様
2,000円相当のグループ製品



500株以上ご所有の株主様
4,000円相当のグループ製品



【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体7名・連結1,520名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	452億円(2020年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキを設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
- 北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



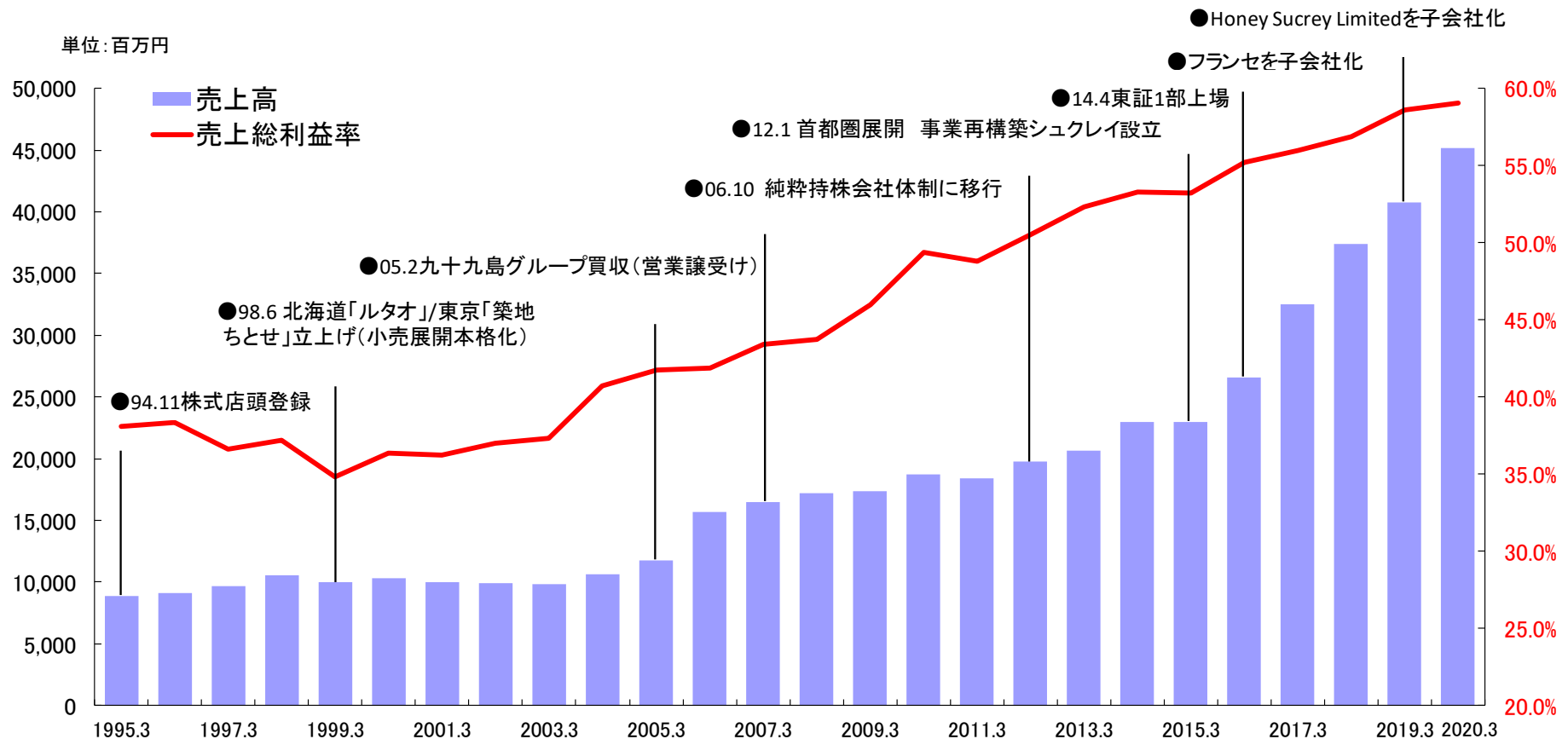
“ドゥーブルフロマーージュ”



“九十九島せんぺい”

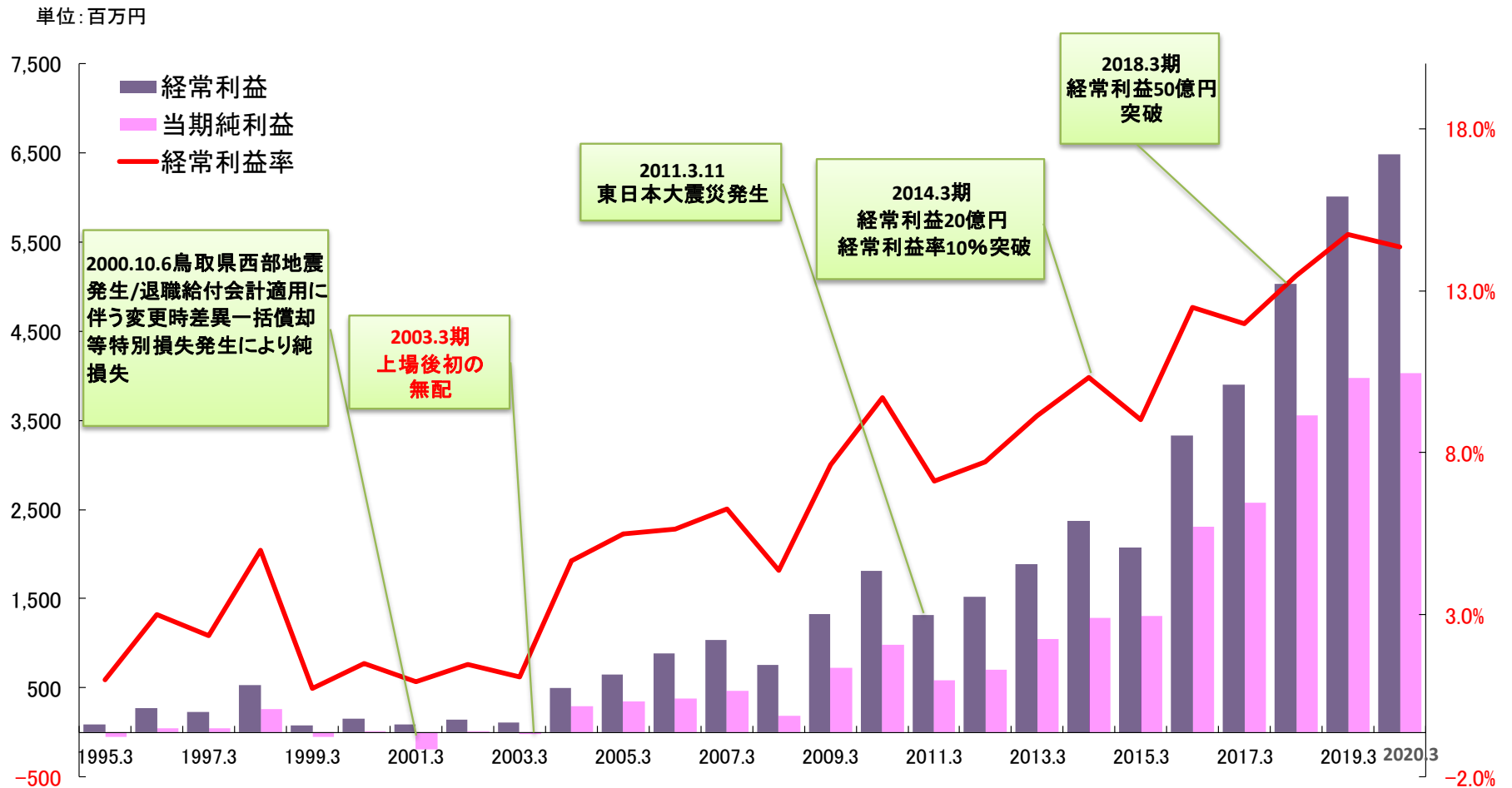
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

当期純利益 2013年3月期から8期連続で過去最高を更新



主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

焱
KÄNOZA
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



FRANÇAIS
(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern
LeTAO
Nostalgic Sweets Master

「ドゥーブルフロマージュ」  寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



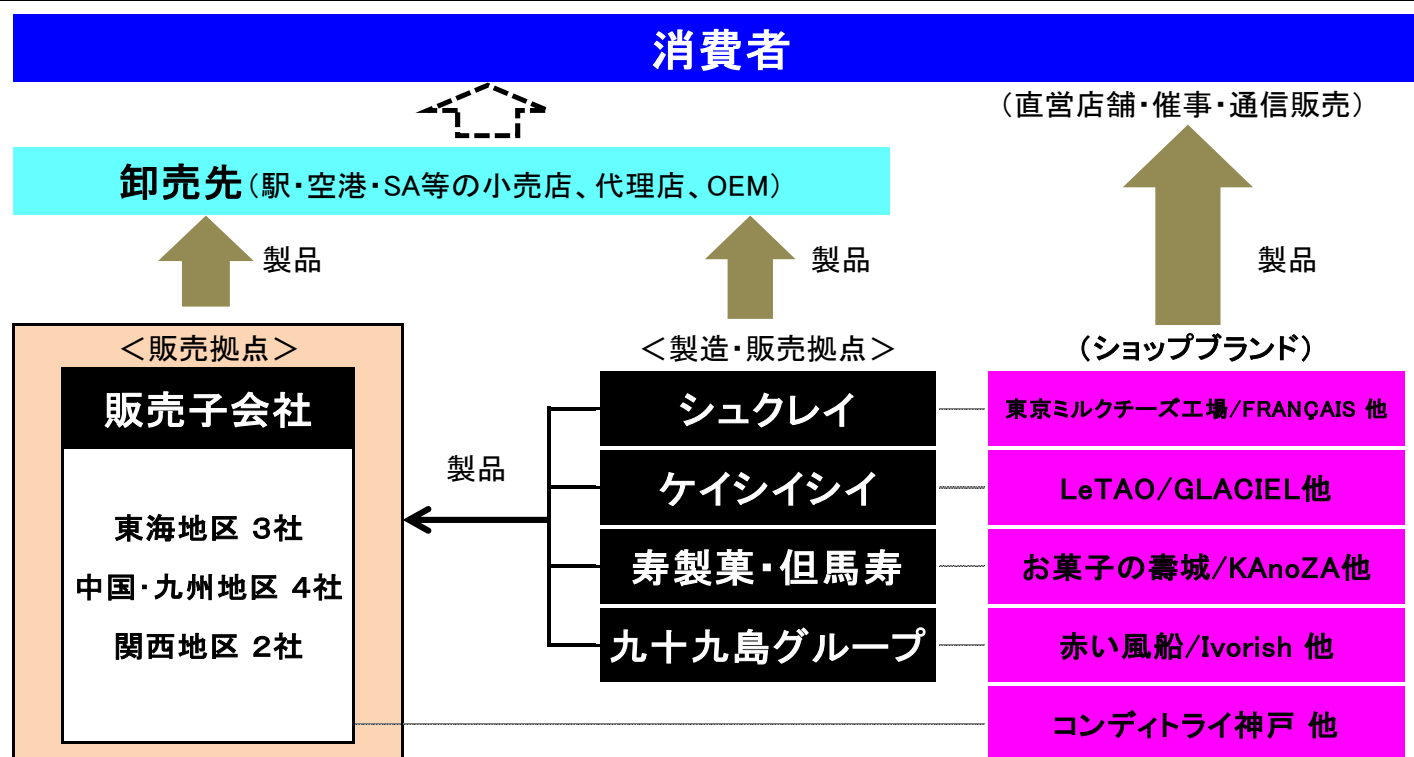
「九十九島せんべい」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



熱狂的ファンづくりの取り組み事例

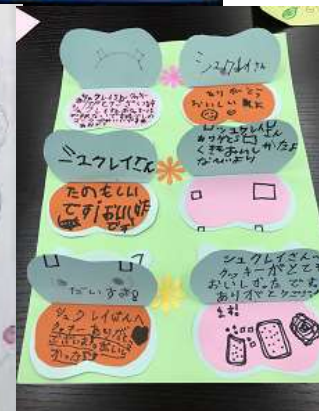
「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。



《シュクレイ》

●港区の学童クラブへのお菓子の寄贈

シュクレイは、4月に本社所在地の港区の全学童クラブにお菓子を寄贈させて頂きました。元気一杯の地元の子供達に美味しいお菓子で楽しい気持ちになって欲しいとの願いを込めてお届けしました。



《ケイシイシイ》

●千歳市の教育・保育施設等へのお菓子の寄贈



ケイシイシイは、4月に本社所在地の千歳市の教育・保育施設、学童クラブ、子供食堂へのお菓子の寄贈をさせて頂きました。心を込めた美味しいお菓子をお届けし、元気一杯の喜びを子供達から受け取りました。



《寿製菓・但馬寿》

●白うさぎ一座による紙芝居公演

寿製菓の社員有志で結成された白うさぎ一座。地元保育園での紙芝居公演は大人気。素敵な神話と美味しいお菓子が引き継がれていく事を願い、これからも「因幡の白うさぎ」を伝え続けていきます。



《寿財団》

公益財団法人 寿財団
KOTOBUKI Foundation /

●公益財団法人寿財団のご紹介

弊社代表取締役社長河越誠剛が理事長を務める公益財団法人寿財団は、奨学金の給付を通じてより良い社会の構築に寄与すべく2019年2月に設立されました。

学業優秀であるにもかかわらず、経済的な理由で学費の支弁が困難な首都圏の大学に学ぶ学生に対して返還義務のない奨学金を給付することで、学業の奨励を図り、将来有望な優れた人材の育成に寄与してまいります。



奨学金の給付を通じて
より良い社会の構築に寄与いたします

詳しい情報につきましては公益財団法人寿財団のホームページをご覧ください。

<http://kotobukizaidan.org/>

